

二日市わがまち協議会「設立趣意書」

『経緯』

筑紫野市では、地域コミュニティを「自治会・町内会等をはじめとする地縁団体や、まちづくり・子育て・防犯を推進する目的を持つ機能団体が、それぞれの特性を活かしながら、様々な地域の課題に取り組み、安全で安心なまちづくりを目指す地域社会」と定義し、小学校区ごとにコミュニティ運営協議会を設立し、「協働によるまちづくり」の取り組みを進めてきました。

二日市コミュニティ運営協議会は、平成26年12月、二日市小学校区、二日市北小学校区、天拝小学校区の3つの小学校区を1コミュニティとした人口約3万人、世帯数1万5千世帯を擁する市内最大の地域コミュニティとして誕生しました。

設立当初から、小学校区ごとにコミュニティ運営協議会を設立することを要望しておりましたが、現在まで設立当初のまま3つの小学校区を1コミュニティとし運営してまいりました。

しかし、令和6年度定期総会で、小学校区ごとにコミュニティ運営協議会を設立する旨の議決がなされ、市や市議会のご理解もいただき自治会長を中心に、小学校区ごとに「コミュニティ設立準備委員会」を立ち上げ、組織体制や規約等の検討を進めてきました。

このたび、令和7年度末をもって、二日市コミュニティ運営協議会を解散し、令和8年度から新たに小学校区ごとに3つのコミュニティ運営協議会を設立することになりました。

『設立趣意』

私たちが住む二日市小学校区は、昔から JR 九州鹿児島本線や西鉄天神大牟田線の二日市駅があり、筑紫野市の政治や商業等の中心地として発展し、現在

も人口が急増している地域でもあります。

地域には多くの課題が存在しますが、毎年のように過去に経験したことがないような災害が発生している状況や少子高齢化等による将来への不安等が増大している現状から、新たなコミュニティが、市民のみなさんから期待されているのは、「安全で安心して暮らせる地域づくり」であると考え、それを実現するため、「二日市わがまち協議会」を設立します。

「わがまち」づくりとは、

地域のみなさんが自分たちのまち（わがまち）としてまちづくりに関わり、子どもたちの未来のため、みんなが協力し合ってつくる、ふるさとづくりと考えます。

“「和（わ）」が、まち”づくりの基本

「和」とは、互いを尊重し合い、認め合って協力することが大切であり、争わずに協力や協調をすることが大切であるとされ、この言葉では話し合いを大切にすることという意味されています。

この「和」がまちづくりの基本であると考えます。

互いの立場を乗り越え、互いを尊重し、認め合って、協力してまちづくりを行いたいと考えます。

地域の課題は、山積していますが、みなさんと力を合わせ、課題のひとつひとつをていねいに分析し、その解決方法を探り当て、みなさんと一緒に取り組んでいきたいと思えます。

「和を以て貴しとなす」を基本に「二日市わがまち協議会」のまちづくりを進めていきたいと思います。

令和7年12月13日

二日市わがまち協議会設立準備委員会